



# Manager 編

1 マネージャーの画面まわり	2
2 お客様・工事の登録	3
新しいお客様を登録する	3
工事を追加する	3
データフォルダを追加する	4
3 物件データのバックアップ・リストア	5
A 物件データをバックアップする	5
物件データをバックアップする	5
物件データをリストアする	6
B お客様データをバックアップする	7
お客様データをバックアップする	7
複数のお客様データをバックアップする	7
お客様データをリストアする	8
C データフォルダ全体をバックアップする	9
データフォルダをバックアップする	9
データフォルダをリストアする	9
4 マスタのバックアップ・リストア	10
マスタを一括バックアップする	10

# 1 マネージャーの画面まわり

ARCHITREND Manager (マネージャー) は ARCHITREND シリーズのファイル管理ツールです。

ARCHITREND シリーズで作成したプランデータはもちろん、Word や Excel などで作成した関連書類も一元管理し、マネージャーから直接起動できます。

**ツール**  
Archi Master やユーティリティなどを起動します。

**フォルダー一覧**  
データフォルダが複数ある場合、「>>」をクリックしてフォルダを切り替えます。

**お客様・工事一覧**  
選択しているデータフォルダ内のお客様データをツリー表示します。

現在のフォルダのフルパスを表示します。  
 📁 : 現在のフォルダをエクスプローラで開きます。  
 📄 : 現在のフォルダのフルパスをクリップボードにコピーします。

一覧で選択しているお客様の名前 (または工事名) を表示します。

**ファイル一覧**  
選択した工事 (またはお客様) に登録されているデータを一覧表示します。

**ポップアップメニュー**  
データを右クリックすると開くメニューです。登録データを操作する機能がまとめられています。

自社情報で登録した会社名とロゴを表示します。  
 ※「設定」メニューの「初期設定」の「自社情報」で登録できます。

選択した工事に ZERO の登録データがない場合、新規作成ウィザードが起動します。既存データがある場合、「物件選択」ダイアログが開きます。

登録データを操作するための機能がまとめられています。

ダブルクリックして起動すると、そのプランデータが開きます。

「図面一覧」で選択している図面 (階または面) をプレビュー表示します。

任意のフォルダのデータを、エクスプローラからマネージャーのファイル一覧へドラッグ&ドロップすることで、ファイルの移動やコピーを行うことができます。

**データ管理の注意点**  
エクスプローラ上でお客様や工事名称のフォルダ名称を変更すると、マネージャーでお客様や工事が表示できなくなりますのでご注意ください。

## 2 お客様・工事の登録

### 新しいお客様を登録する

- 1 「お客様の登録」をクリックします。
- 2 お客様の名前や工事内容などを設定して、「登録」をクリックします。



### グループフォルダとは

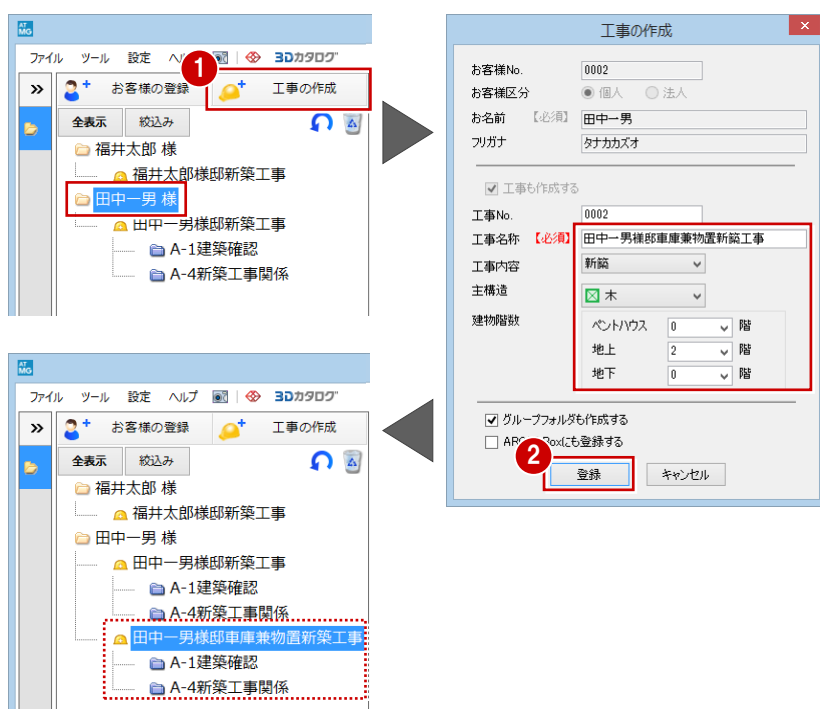
「グループフォルダも作成する」が ON の場合、「A1 建築確認」「A-4 新築工事関係」などのグループフォルダが作成されます。

グループフォルダとはマネージャーの管理フォルダで、お客様・工事一覧のツリーに表示され、クリックすることでフォルダの内容を右側の登録データ一覧で確認できます。写真や書類を分類して管理する場合に有効です。

なお、新しい工事を作成したと同時に作成されるグループフォルダは、「設定」メニューの「初期設定」の「グループフォルダ」で設定します。

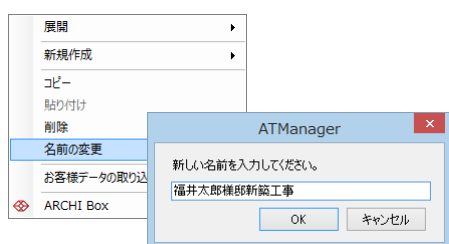
### 工事を追加する

- 1 工事を追加するお客様を選んで、「工事の作成」をクリックします。
- 2 工事名称や工事内容などを設定して、「登録」をクリックします。



### お客様・工事の名前を変更するには

お客様または工事を選んで、ポップアップメニューから「名前の変更」を選びます。



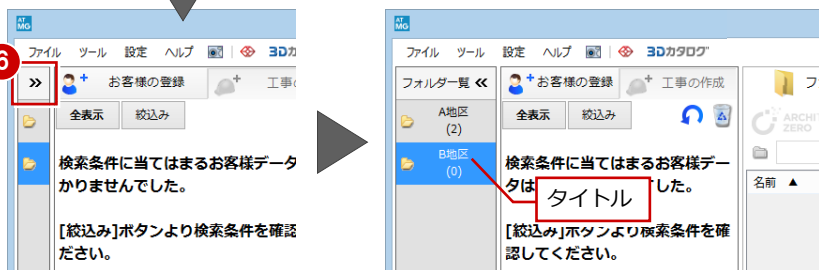
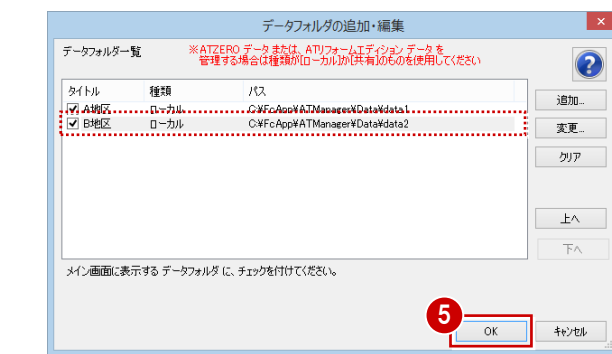
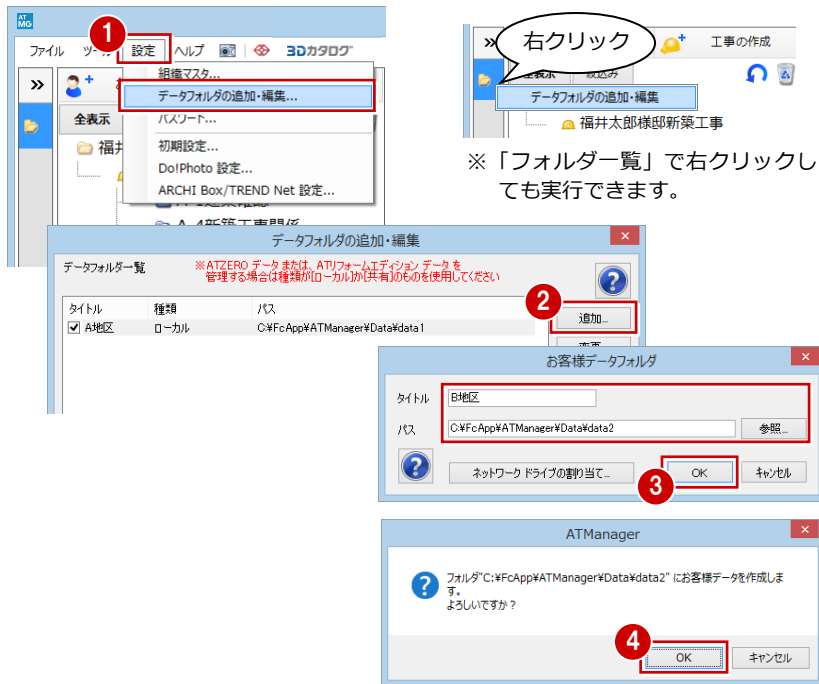
## データフォルダを追加する

お客様によって保存場所を区別したい場合などは、新しいデータフォルダを作り、フォルダを切り替えて使用します。

- 1 「設定」メニューから「データフォルダの追加・編集」を選びます。
- 2 「データフォルダの追加・編集」ダイアログの「追加」をクリックします。
- 3 「お客様データフォルダ」ダイアログで、データフォルダのタイトルやフォルダを設定して、「OK」をクリックします。
- 4 確認画面で「OK」をクリックします。

- 5 「データフォルダの追加・編集」ダイアログのリストに追加されたことを確認して、「OK」をクリックします。

- 6 マネージャーの「>>」をクリックすると、「フォルダー一覧」にデータフォルダが追加されたことを確認できます。



## お客様工事一覧を並べ替えるには

「絞り込み」をクリックして、「お客様・工事一覧の絞り込み検索」ダイアログで「並び替え」をクリックします。「並び替え」ダイアログで条件を設定して、「お客様・工事一覧の絞り込み検索」ダイアログで「絞り込み検索」をクリックすると、「お客様・工事一覧」の表示が並び替えられます。



### 3 物件データのバックアップ・リストア

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、万が一の場合に備えて、データやマスタは定期的にバックアップしておきましょう。バックアップの操作は、目的によって次のように異なります。

- (A) 物件データを圧縮して別ファイルに保存する。  
⇒ 物件データをバックアップする (下記参照)
- (B) 最終成果物 (保存版) となるデータを CD や DVD に書き込んでおく。  
⇒ お客様データをバックアップする (P.7 参照)
- (C) 万が一の場合に備えて、別のマシンやドライブに、データやマスタを定期的にバックアップしておく。  
⇒ データフォルダ全体をバックアップする (P.9 参照)

※ バックアップファイルは、CD-R や DVD-R などに直接書き込むことはできません (MO には可能)。  
CD-R や DVD-R などへ書き込む場合は、ここで解説する手順でバックアップファイルをローカルディスクに保存した後、CD や DVD に書き込んでください。

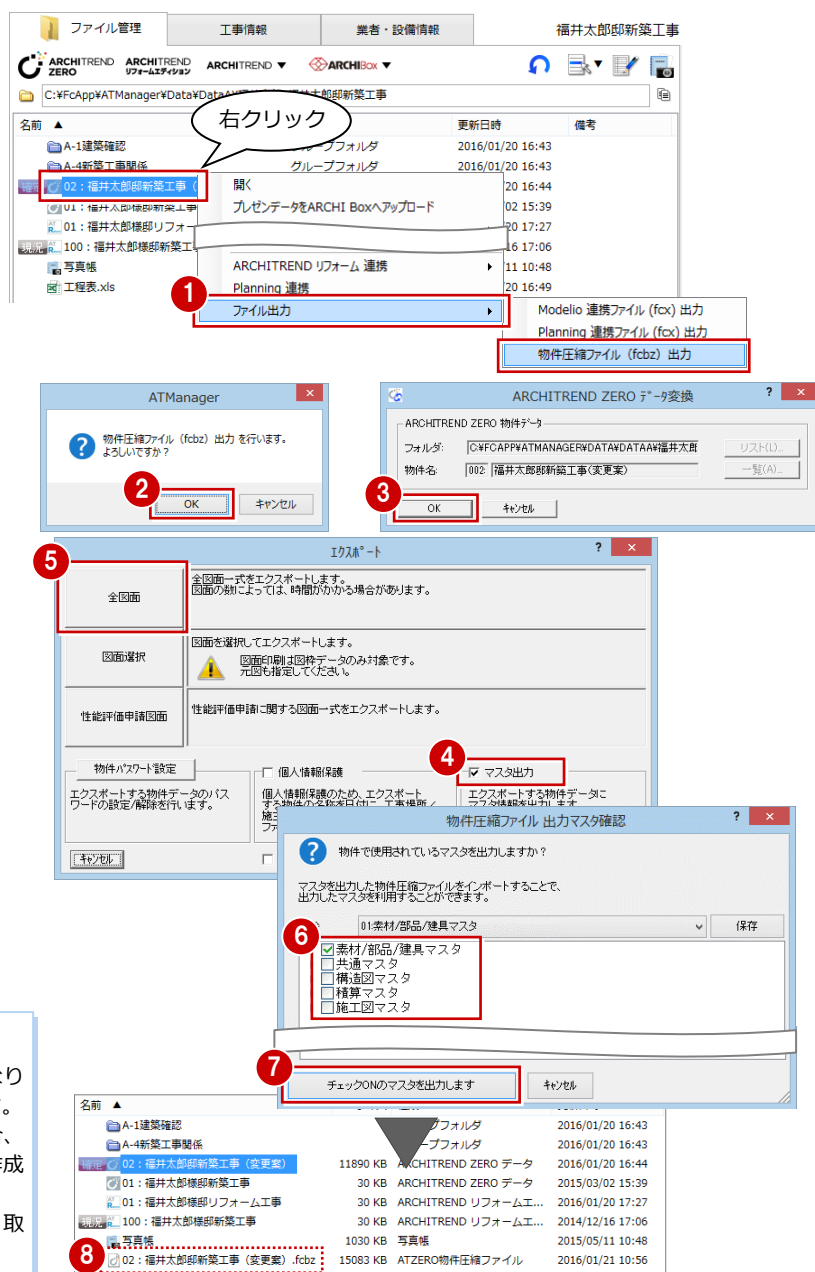
## A 物件データをバックアップする

### 物件データをバックアップする

- 1 ARCHITREND ZERO または、リフォームエディションのデータを選んで、ポップアップメニューから「ファイル出力」の「物件圧縮ファイル (fcbz) 出力」「物件圧縮ファイル (fcrz) 出力」を選びます。
- 2 確認画面で「OK」をクリックします。
- 3 「ARCHITREND ZERO データ変換」ダイアログで「OK」をクリックします。
- 4 「マスタ出力」を ON にします。
- 5 「エクスポート」ダイアログで出力する図面を選びます。  
ここでは「全図面」を選択します。  
物件内の指定した図面だけをエクスポートしたいときは「図面選択」を選んで、目的の図面を選択します。
- 6 出力するマスタを確認します。
- 7 「チェック ON のマスタを出力します」をクリックします。
- 8 工事内に、物件圧縮ファイル (fcbz, fcrz) が作成されたことを確認できます。

#### マスタデータの出力

マスタデータも出力するとファイルサイズは大きくなりますが、マスタも同時に出力することをお勧めします。ファイルを受け取る側に同じマスタが存在しない場合、受け取り側でプロパティの変更やパースモニタの再作成を行うとエラーが表示されてしまうためです。なお、マスタ込みのファイルをインポートする際は、取り込むマスタを選択できます。



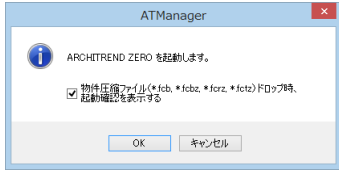
## 物件データをリストアする

① 物件圧縮ファイル (fcbz, fcrz) を新しい工事にに入れて、ダブルクリックします。

② 確認画面で「OK」をクリックします。

### 物件圧縮ファイルをドロップした場合

物件圧縮ファイル (fcbz, fcrz) をファイル一覧へドロップした場合は、次の確認画面が表示されます。「OK」をクリックすると、手順③に進みます。



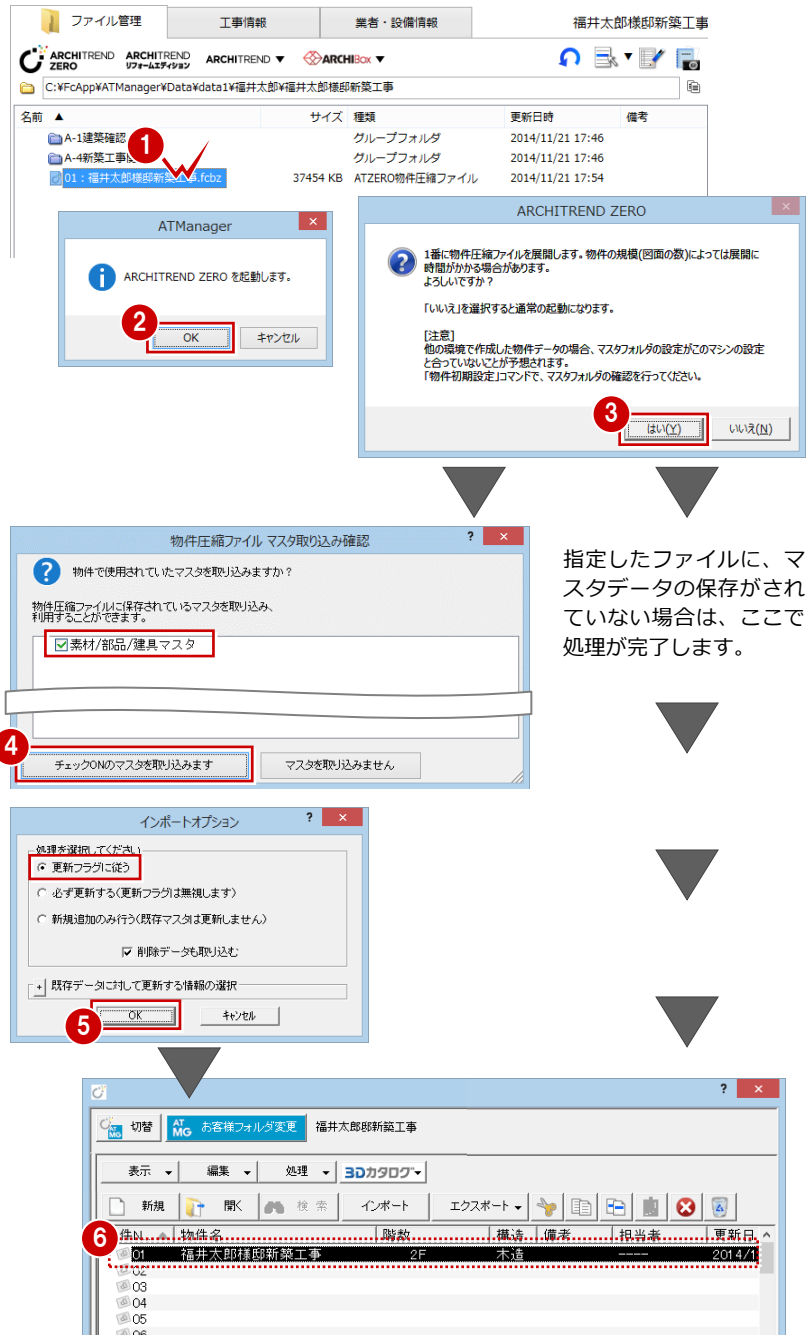
③ 確認画面で「はい」をクリックすると、インポート処理が始まります。

④ 指定したファイルにマスタのデータが保存されている場合は、「物件圧縮ファイル マスタ取り込み確認」ダイアログが表示されます。

取り込むマスタを確認して、「チェック ON のマスタを取り込みます」をクリックします。

⑤ 続けて、「インポートオプション」ダイアログが開くので、「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

⑥ 処理が完了すると、一覧に取り込まれた物件データが登録されます。リフォームの場合は、取り込まれた物件データが開きます。



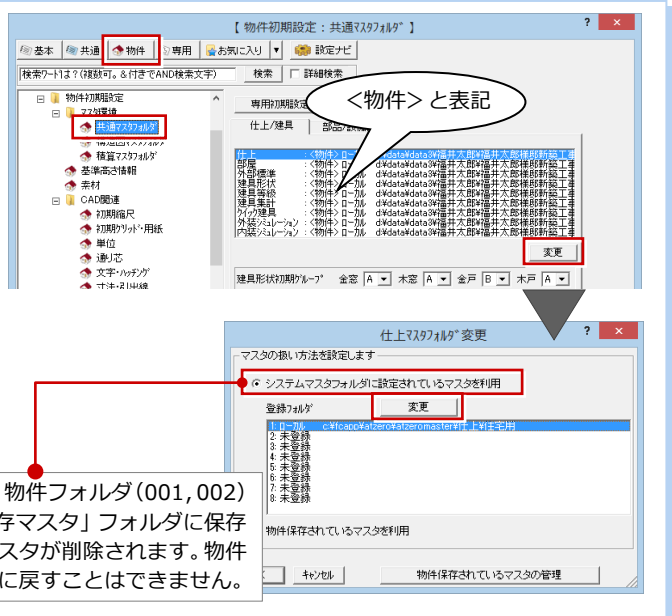
指定したファイルに、マスタデータの保存がされていない場合は、ここで処理が完了します。

### 共通マスタなどが保存されている場合は

共通マスタなどが保存されている物件データをインポートした場合、「物件初期設定 (共通マスタフォルダ)」ダイアログのマスタフォルダに、その物件に保存されているマスタが設定されます。使用するマスタをシステムマスタに戻したい場合は、「変更」をクリックして、「マスタフォルダ変更」ダイアログで、「システムマスタフォルダに設定されているマスタを利用」を ON にしてフォルダを変更します。



【リフォームの場合】

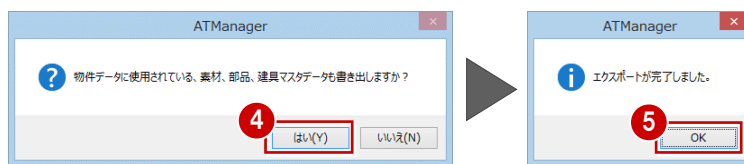
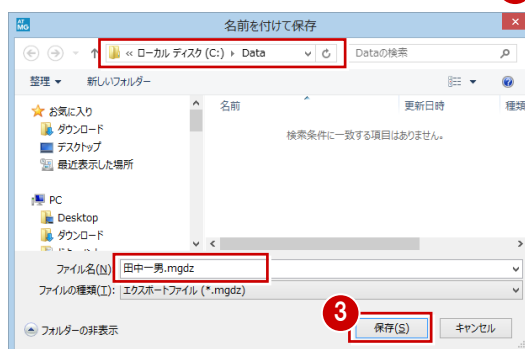
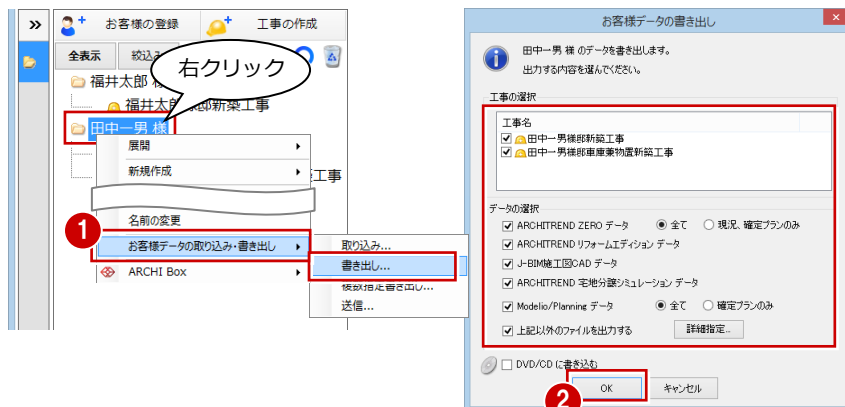


ON にすると、物件フォルダ (001, 002) 内の「物件保存マスタ」フォルダに保存されているマスタが削除されます。物件保存のマスタに戻すことはできません。

## B お客様データをバックアップする

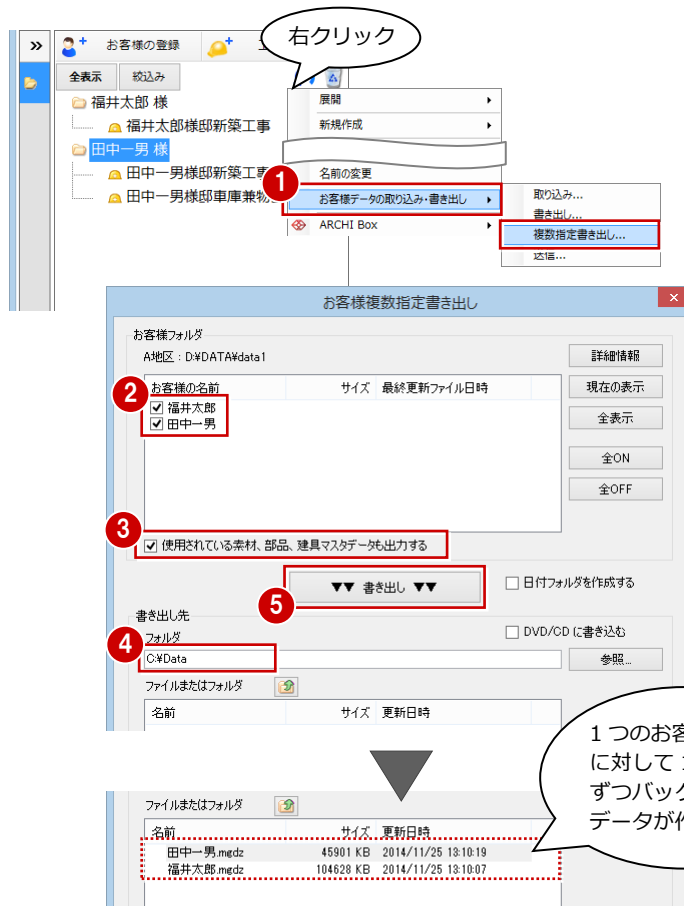
### お客様データをバックアップする

- 1 目的のお客様を選んで、ポップアップメニューから「お客様データの取り込み・書き出し」の「書き出し」を選びます。
- 2 「お客様データの書き出し」ダイアログで、出力する工事とデータにチェックを付けて、「OK」をクリックします。
- 3 お客様データを書き出すフォルダとファイル名を設定して、「保存」をクリックします。
- 4 ZERO データで使用されている素材・部品・建具マスタのデータを出力するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。  
⇒ P.5 「マスタデータの出力」参照
- 5 完了の確認画面で、「OK」をクリックします。



### 複数のお客様データをバックアップする

- 1 「お客様・工事一覧」で右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「複数指定書き出し」を選びます。
- 2 「お客様複数指定書き出し」ダイアログで、出力するデータにチェックを付けます。
- 3 「使用されている素材、部品、建具マスタデータも出力する」にチェックを付けます。  
⇒ P.5 「マスタデータの出力」参照
- 4 保存先のフォルダを設定します。
- 5 「▼▼書き出し▼▼」をクリックします。



#### DVD/CD に書き込む

「DVD/CD に書き込む」を ON にした場合、既定のフォルダ（「CD\_WORK」）に書き出されます。  
例）C:\¥FcApp¥ATManager¥CD\_WORK¥  
このフォルダの中身を別途、CD や DVD に書き込んでください。

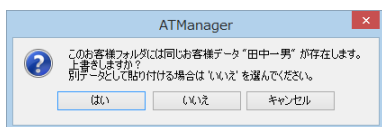
1 つのお客様データに対して 1 ファイルずつバックアップデータが作成される

## お客様データをリストアする

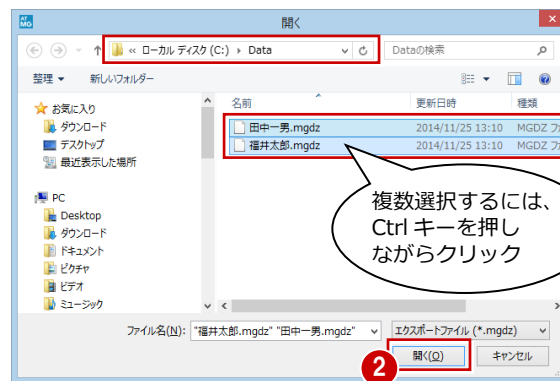
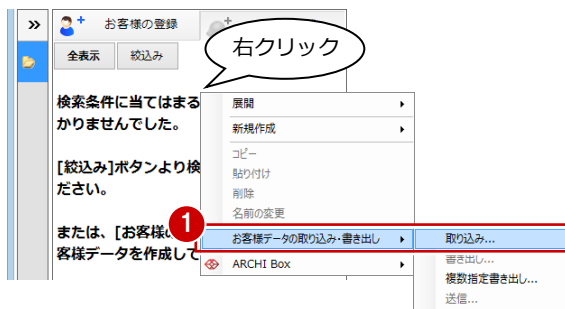
- 1 「お客様・工事一覧」で右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「取り込み」を選びます。
- 2 「開く」ダイアログで、ファイルの場所と取り込む mgdz ファイルを選択して、「開く」をクリックします(複数選択可)。取り込みが始まります。

### 同じお客様データが存在する場合

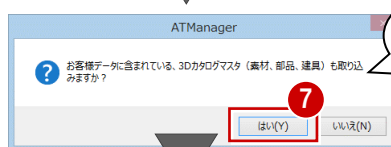
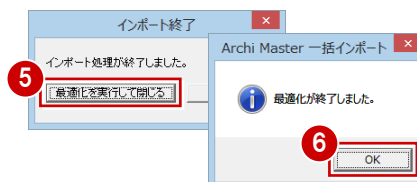
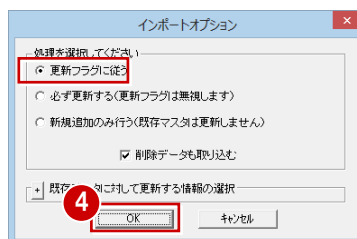
現在使用しているお客様データフォルダに同じお客様データが存在する場合は、「開く」をクリックした後、確認画面が表示されます。現在のお客様データに上書きする場合は「はい」をお客様の名前の末尾に連番 (1) (2) (3) ... を付けて別のお客様データとして取り込むには「いいえ」を選びます。



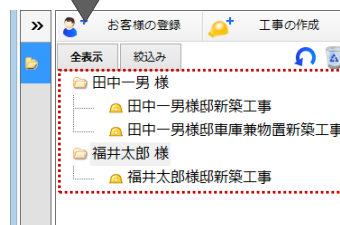
- 3 指定したファイルに素材・部品・建具マスタのデータが保存されている場合は、続けてマスタのインポート画面が表示されるので、「実行」をクリックします。
- 4 続けて、「インポートオプション」ダイアログが開くので、「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。
- 5 インポート終了の確認画面で「最適化を実行して閉じる」をクリックします。
- 6 最適化終了の確認画面で「OK」をクリックします。
- 7 取り込むお客様データに 3D カタログの素材、部品、建具が含まれる場合は、右記のメッセージが表示され、「はい」をクリックします。
- 8 完了の確認画面で「OK」をクリックします。「お客様・工事一覧」に、取り込んだお客様データが表示されます。



指定したファイルに、素材・部品・建具マスタのデータが保存されていない場合は、ここで処理が完了します。



お客様データに 3D カタログマスタが含まれている場合

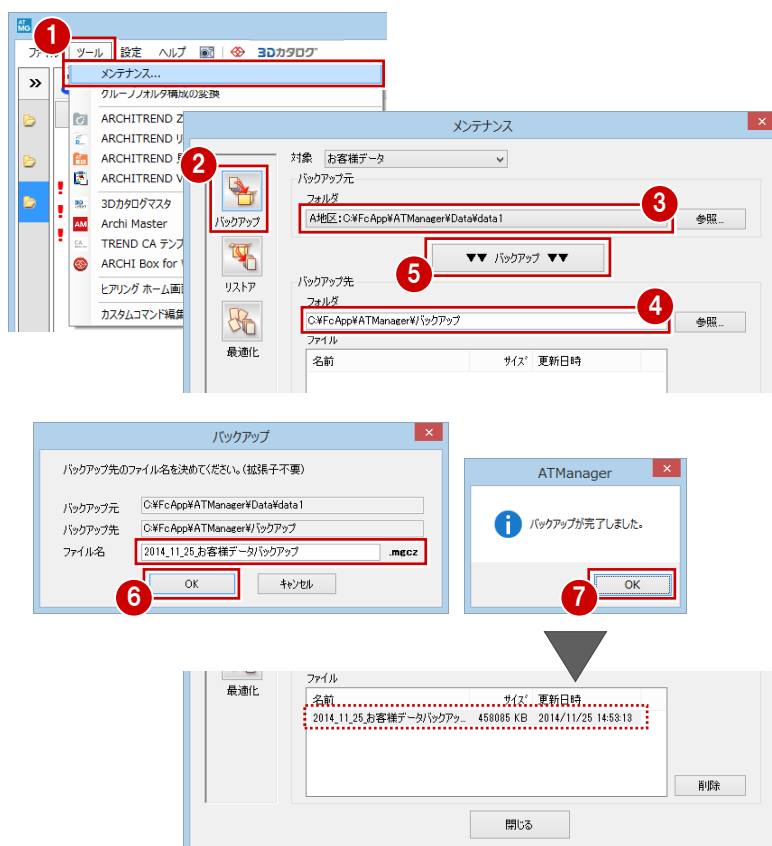




## C データフォルダ全体をバックアップする

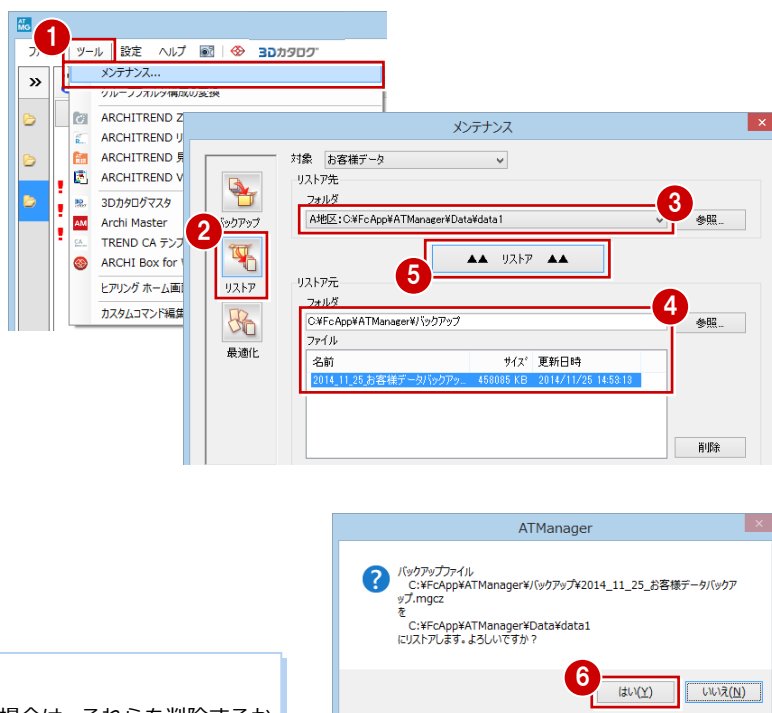
### データフォルダをバックアップする

- 「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。
- 「メンテナンス」ダイアログで「バックアップ」をクリックします。
- ～5 バックアップするデータフォルダと保存先を設定して、「▼▼バックアップ ▼▼」をクリックします。
- バックアップファイルのファイル名を確認して、「OK」をクリックします。  
処理が始まります。
- 完了の確認画面で、「OK」をクリックします。



### データフォルダをリストアする

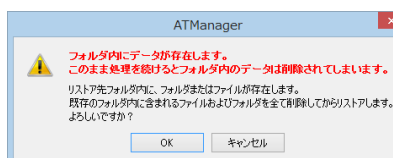
- 「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。
- 「メンテナンス」ダイアログで「リストア」をクリックします。
- ～5 リストア先のフォルダとリストアするデータを設定して、「▲▲リストア ▲▲」をクリックします。
- 確認画面で「はい」をクリックします。  
処理が始まります。
- 完了の確認画面で、「OK」をクリックします。



#### 注意：リストア先にファイルが存在すると

リストア先のフォルダにファイルやフォルダが存在する場合は、それらを削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダ内のファイルやフォルダをすべて削除してからリストアするには「OK」を、リストア先を変更するには「キャンセル」を選択します。

既存のお客様データフォルダをリストア先に指定した場合、「OK」をクリックするとそのフォルダに保存されているお客様データはすべて消えますのでご注意ください。



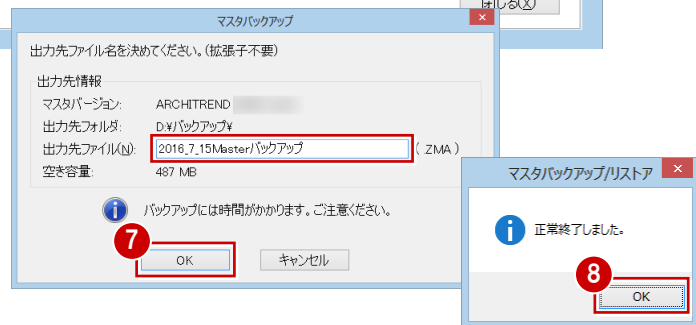
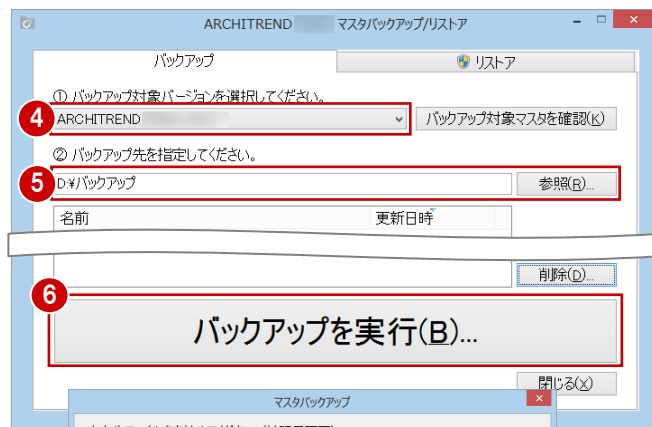
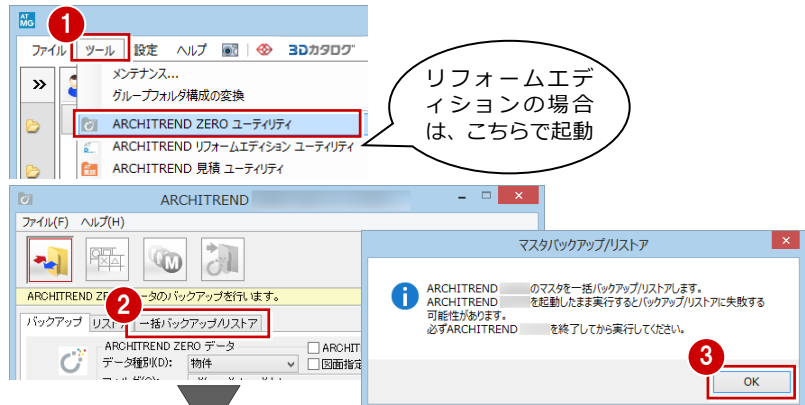
## 4 マスタのバックアップ・リストア

ARCHITREND ZERO または、リフォームエディションで使用している物件マスタなど各種マスタのバックアップ、リストアは、マネージャーからそれぞれのユーティリティを起動して行います。

ここでは、ARCHITREND ZERO のすべてのマスタをバックアップする操作を解説します。

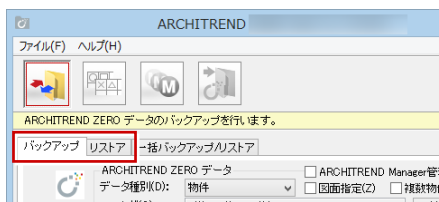
### マスタを一括バックアップする

- 1 「ツール」メニューから「ARCHITREND ZERO ユーティリティ」を選びます。
- 2 「一括バックアップ/リストア」タブをクリックします。
- 3 確認画面で「OK」をクリックします。
- 4 「バックアップ」タブでバックアップ対象のバージョンを選びます。
- 5 「参照」でバックアップ先のフォルダを設定します。
- 6 「バックアップを実行」をクリックします。
- 7 バックアップのファイル名を入力して、「OK」をクリックします。バックアップが開始されます。
- 8 確認画面で「OK」をクリックします。



### 個別にマスタをバックアップするには

物件マスタのみをバックアップしたいというように、個別にマスタをバックアップ（リストア）したい場合は、ユーティリティの「バックアップ」（「リストア」）タブで行います。



### 一括バックアップしたファイルのマスタを一括してリストアするには

一括バックアップ/リストアの「リストア」タブで行います。

